

2009年7月15日(水曜日)

6月補正予算が成立

6月定例県議会において、一般会計で220億円余の平成21年度6月補正予算が成立しました。当初予算を含めた一般会計予算の総額は5,028億円となり、6月補正後の予算額としては、平成16年度以来5年ぶりに5,000億円を上回りました。

6月補正予算では、厳しい状況にある本県の経済・雇用情勢の一日も早い回復を図るため、雇用を維持・確保し、新たに創出する「雇用対策」、受注減少等の影響を受ける中小企業の経営を支援する「中小企業対策」、公共事業の追加と早期発注などによる「県内経済の活性化」、新型インフルエンザ感染拡大防止などの「県民生活の安心確保」の4点に重点を置いています。

補正予算とは

県の仕事に必要な予算は、年度の始まる4月までにあらかじめ決めることになっています。年度初めに定める予算であることから、これを「当初予算」といいます。

しかし、実際に仕事を進めていくなかで、必要に応じて新たに予算を追加したり、変更する場合があります。これを「補正予算」といいます。

雇用対策

求職の増加と求人の減少により有効求人倍率が低水準にあるなど、厳しい雇用情勢が続いています。補正予算では、県民の雇用を守り、新たな雇用を創出するため、当初予算で既の実施している雇用対策に加えて新たな対策を行います。

● 新たな雇用の創出

当初予算の雇用対策により14,000人の雇用の維持・創出をしていますが、離職者等を対象とする雇用創出と、人材が求められているIT・介護分野への再就職につながる職業訓練を充実するための事業を追加実施することにより、さらに1,100人の雇用を創出します。

● 若者の就職支援の充実

来春就職予定の大学生を対象にした就職説明会を春・夏に引き続き秋にも開催するほか、就職支援コーディネーターを県立高校に置き、高校3年生の進路指導の充実や卒業生からの相談を受けるなど、若者の就職支援を行います。

● 企業が行う教育訓練の充実

休業等を行うことにより、雇用の維持・安定に努力している事業主が、休業中の従業員に対して技能向上のために教育訓練を行う場合の講師派遣等に支援を行います。



就職説明会の様子

中小企業対策

受注の減少等の影響を受けやすい中小企業の資金繰りへの支援と、県産品の販売促進、県内での消費拡大等を図ることにより、中小企業対策を強化します。

● 資金繰りへの支援

従業員20人以下の企業などの利用が多い「マル経資金(小規模事業者経営改善貸付)」の貸付に対して、県が利子補給する制度を全国で初めて設け、借入れ負担の軽減を図ります。

● ものづくり技術の活用

優れたものづくり技術を生かして、環境・医療・福祉などの成長が見込まれる分野への進出を

目指す中小企業に対し、試作品開発などの商品開発から販路開拓等までに要する経費を支援します。

● 県産品の販路拡大

「ふくい南青山291」のサテライト店舗を2か月間銀座に出店し、おいしい福井の食や伝統的工芸品などの県産品の販売拡大と本県PRによる観光誘客につなげます。



ものづくり技術に優れた福井の企業

県内経済の活性化

暮らしを支える道路や橋などの社会基盤の整備を進めるため、6月補正予算の約6割を公共事業予算として計上し、早期発注にも努めるなど重点的に実施します。また、観光・農林水産業・環境等の分野での事業により、県内経済の活性化につなげます。

社会基盤の整備

中部縦貫自動車道など主要道路の一層の整備促進を図るとともに、道路・橋の修繕による長寿命化対策、河川の浚渫(しゅんせつ)、消雪設備の整備、山ぎわに放置された竹林の整備など、安全安心を確保するための基盤整備を計画を練り上げて実施します。

観光営業戦略の強化

● 恐竜王国ふくいをアピール

22年度の恐竜博物館開館10周年に向け、世界最大級の恐竜「カマラサウルス」の全身骨格化石を購入し、恐竜博物館の魅力向上につなげます。また、全国各地で恐竜出前展示などを行い、ふくいブランドである「恐竜」の魅力を全国に発信し、観光誘客につなげます。

● 有料道路の通行料金半額割引

夏休み期間中の毎日、9月以降の土・日・祝日に、三方五湖有料道路と法恩寺山有料道路の普通自動車の通行料金を半額にし、観光客の増加につなげます。

● APECエネルギー大臣会合開催記念フォーラム等の開催

来年本県で開催される「APECエネルギー大臣会合」の成功に向けて、記念フォーラム等を開催します。また、これを契機に「ふくいブランド」を国内外に向けて発信していきます。

農林水産業の育成

農産物直売所の新設・拡充に助成し、中山間地などの農産物の新たな販売・加工や、漁業者と連携した水産物の定期的な販売促進を行い、地産地消をさらに進めます。また、山ぎわ集落の間伐や作業道の整備を行い、森林整備を促進します。

環境への投資

通勤に使う電動自転車の購入に助成することで、自動車利用から電動自転車利用への転換を促し、過度に自動車に依存しない社会づくりを進めます。また、三方五湖の水質浄化対策を進めるなど、本県の豊かな環境を次世代に引き継ぐための施策を充実します。

情報化への投資

23年7月の地上デジタル放送への完全移行に向けて、県立学校等における地上デジタル放送の受信に必要な整備を進めます。また、市町が行う携帯電話の不感地域を解消するための設備の整備を支援します。



整備が進む中部縦貫自動車道



カマラサウルスの化石



採れたての地元野菜がたっぷりの農産物直売所

県民生活の安心確保

● 新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザの感染拡大防止のため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を行うとともに、感染者への対応に必要な防護具等を整備します。

● 学校施設の耐震化促進

生徒の使用頻度の高い県立学校の校舎・体育館の耐震化について、計画を繰り上げて実施します。

● 奥越地区における特別支援学校の整備

奥越地区における特別支援学校の整備に向け、勝山南高校の敷地・建物を活用するための調査を行い、基本計画を策定します。

● 明るい通学路の整備

通学路への新たな防犯灯の整備を進め、子どもの登下校時の安全を守ります。



通学路を下校する子どもたち

6月補正予算の主要施策

(単位: 千円)

区分	事業名	予算額
雇用対策	拡 離職者等に対する雇用の創出	1,129,940
	拡 離職者等に対する職業訓練の実施	22,050
	新 新規学卒者臨時就職面接会開催事業	2,367
	新 中小企業人材育成緊急支援事業	31,605
中小企業対策	新 マル経資金利子補給制度の創設(債務負担行為)	32,000
	新 ものづくり中小企業競争力強化支援事業	65,000
	新 「ふくい南青山291」サテライト出店事業	7,458
県内経済の活性化	【社会基盤の整備】	
	拡 直轄・補助公共事業の前倒し	9,181,698
	拡 単独事業の前倒し	3,224,241
	【観光営業戦略の強化】	
	新 恐竜博物館魅力度アップ事業	278,250
	新 ふくいブランド全国展開事業	58,680
	新 有料道路誘客促進特別対策事業[半額キャンペーン]	46,000
	新 APECエネルギー大臣会合開催記念フォーラム等の実施	4,471
	【農林水産業の育成】	
	新 農産物直売所緊急整備支援事業	121,326
	新 緊急森林整備事業	344,977
	【環境への投資】	
新 電動自転車によるエコ通勤支援事業	6,450	
新 三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業	67,732	
【情報化への投資】		
拡 県有施設等地上デジタル化対応事業	365,715	
拡 携帯電話不感地域解消支援事業	67,284	
県民生活の安心確保	拡 新型インフルエンザ感染症対策事業	107,397
	拡 県立学校施設耐震化促進事業	287,297
	新 奥越地区特別支援学校(仮称)基本計画策定事業	6,731

新とあるのは、新規事業です。**拡**とあるのは、事業内容の拡充を行った事業です。
(債務負担行為)とは、複数年度にまたがる事業など、将来の財政負担を伴う行為をする際に、来年度以降に必要となる予算を定めるものです。

詳しい内容は、[県のホームページ](#)に掲載されていますので、ご覧ください。

問い合わせ先：県財務企画課 0776(20)0234

 **BACK**